

# 株式会社ウェザーニューズ



平成19年5月期(第21期) 決算報告

2007年6月29日



# 連結業績 21期レビュー

売上は微増、収益は改善し黒字化

	第20期 (05.06 ~ 06.05) (百万円)	第21期 (06.06 ~ 07.05) (百万円)	増減 (百万円)
売上高	11,134	11,244	110
(BtoS 個人向け市場)	(6,128)	(5,935)	( 193)
(BtoB 法人向け市場)	(5,005)	(5,308)	(303)
営業利益	296	486	190
経常利益	282	486	204
純利益又は純損失	224	3	227

# 21期のサマリー

## 第3成長期に向けてグローバル体制見直しにより収益性改善

### < 売上面 >

トールゲート型ビジネス（継続的コンテンツサービス）は、交通気象、モバイル/インターネットの成長により10,454百万円（6.4%増）  
重点事業である交通気象は、2,838百万円（15.3%増）

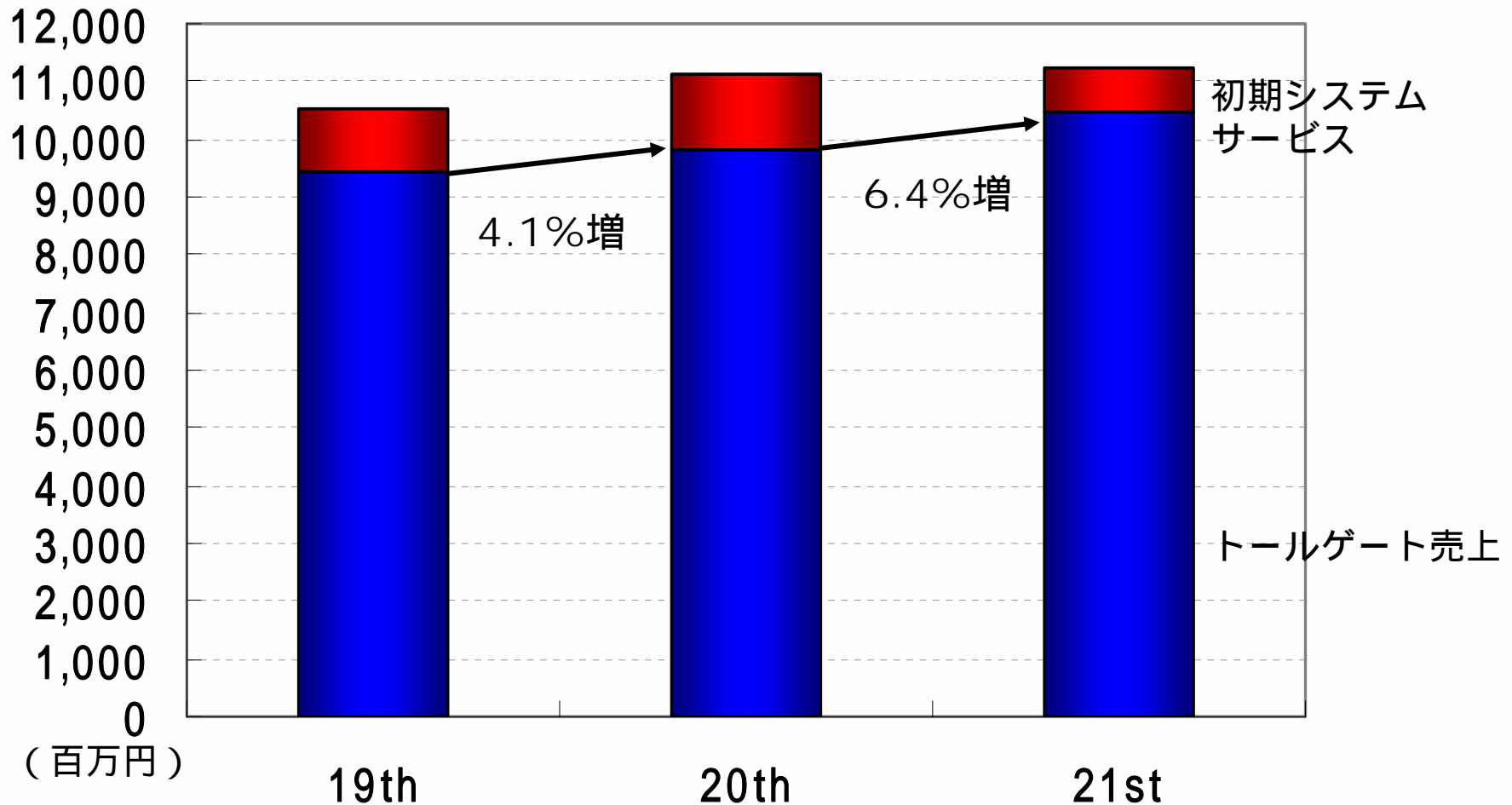
BtoSは、携帯とインターネットは引き続き増加し、2,112百万（10.4%増）、デジタル化に伴う初期システムサービスが一巡したことにより410百万円減少  
地域別では、日本が引き続き堅調、アジアは上昇傾向。欧州、北米は横ばい

### < 収益面 >

トールゲート型ビジネスの増加に伴い営業利益が増加  
北米の販売体制の再構築により収益性が改善、欧州の販売・運営体制の再構築  
上記2点の結果、経常利益72.1%増、純利益は3期ぶりに黒字化

# 21期のレビュー 売上全体

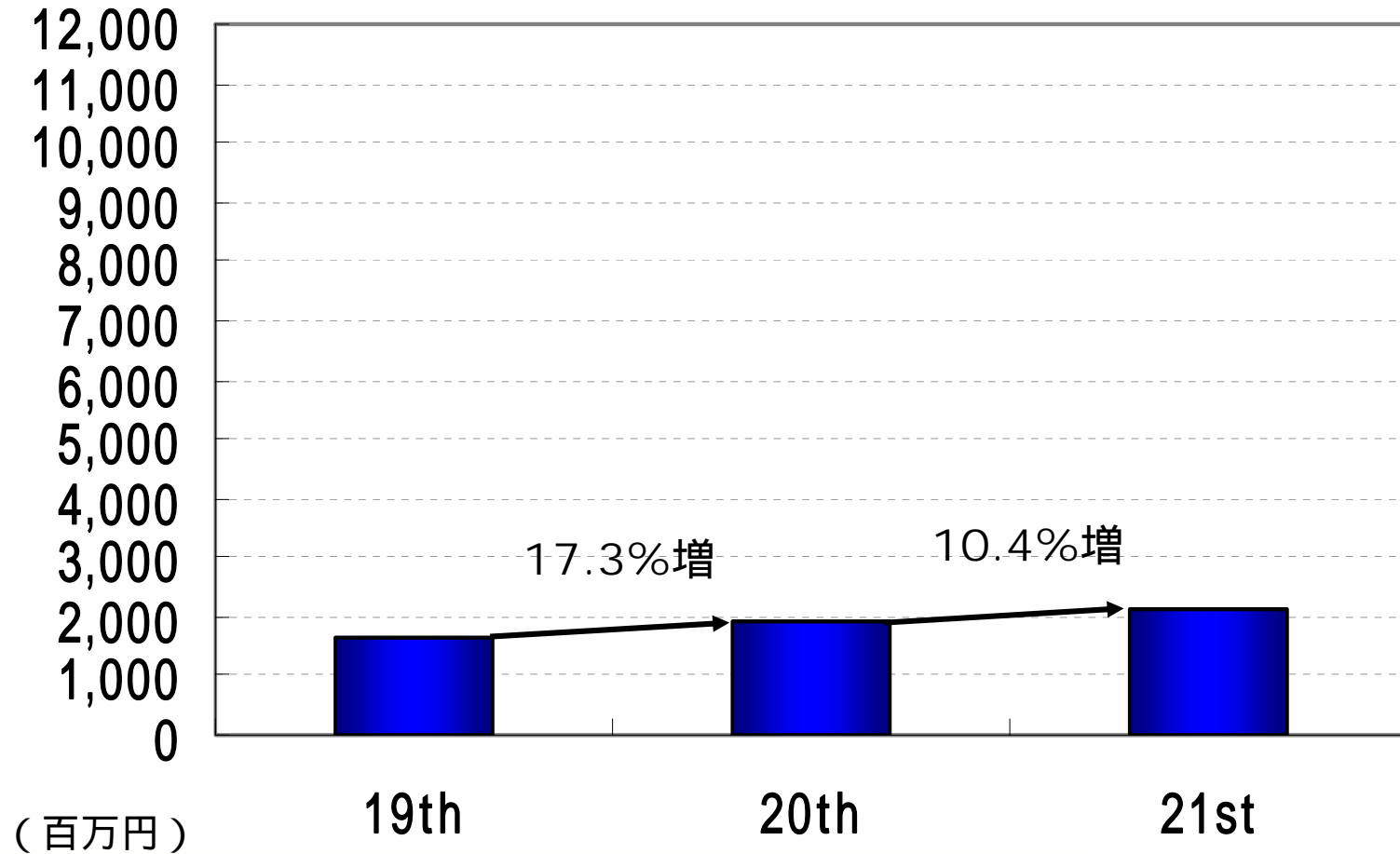
トールゲート型ビジネスは継続して増加



初期システムサービス = コンテンツを表示するための機器仕入れを伴うソフトウェア売上

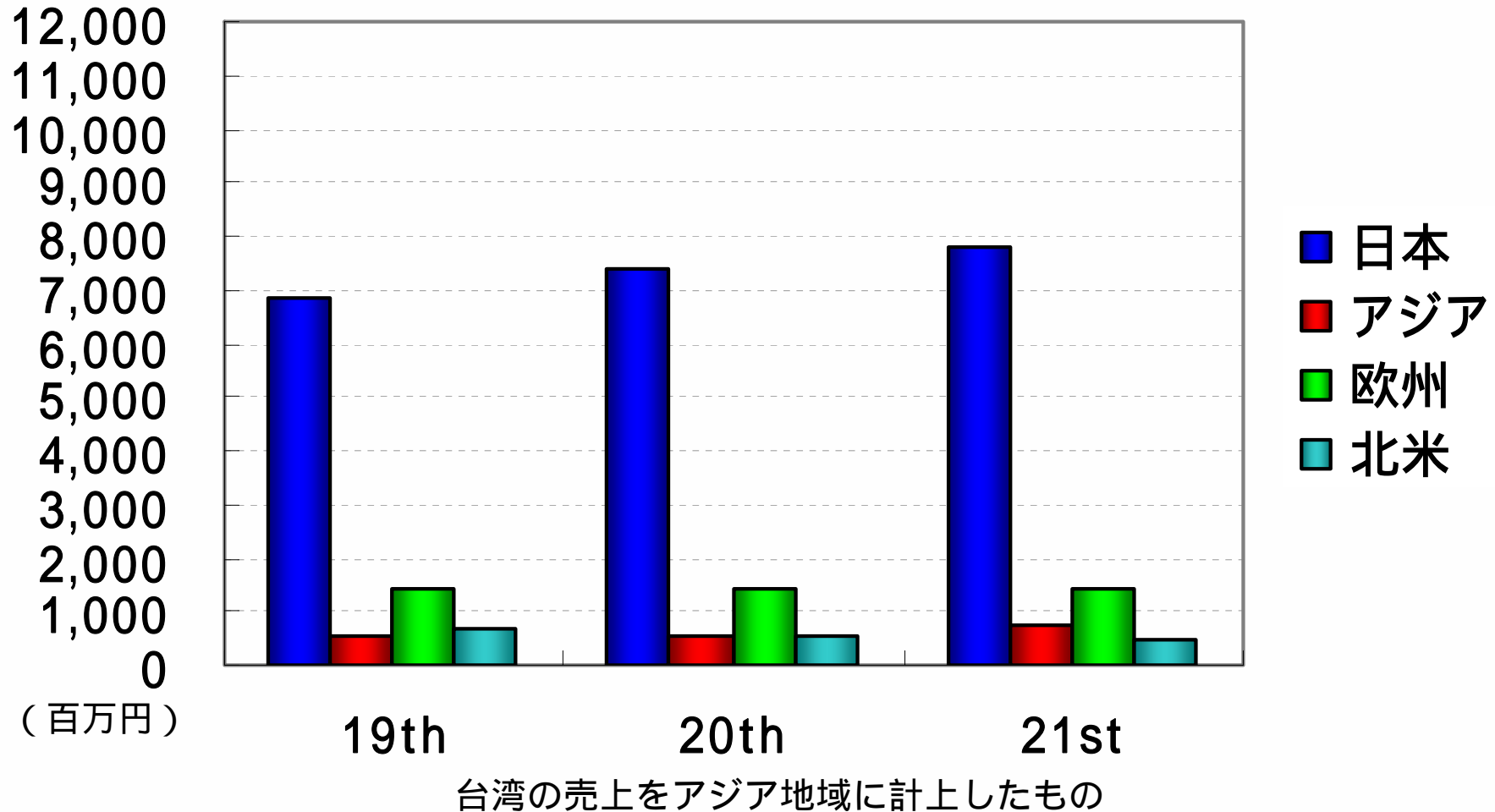
## 21期のレビュー BtoS市場

モバイル/インターネットは連動サービスが好調で、引き続き拡大（10.4%増）



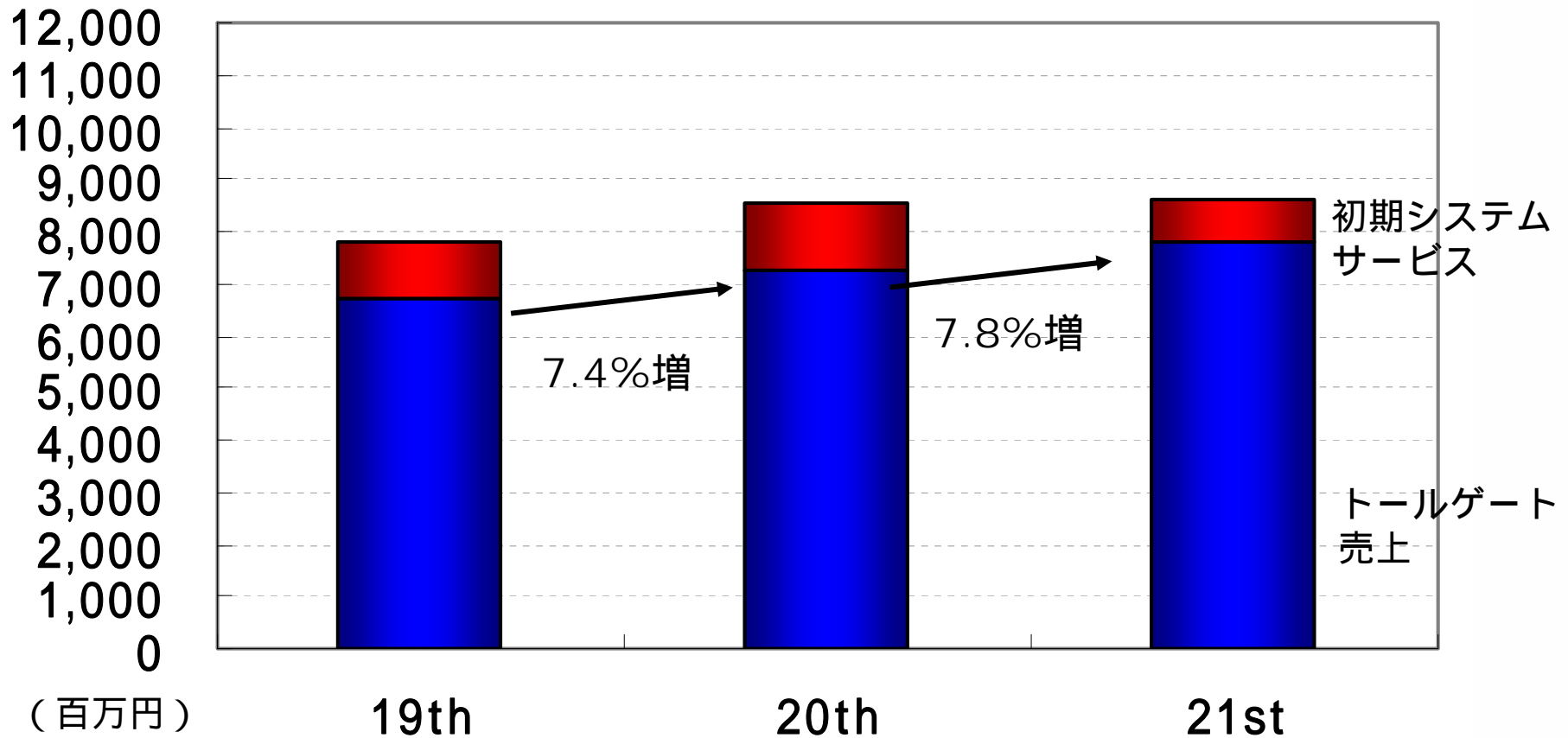
# 21期のレビュー 地域別

日本は引き続き堅調（トールゲート型ビジネス7.8%増）



# 21期のレビュー 日本地域

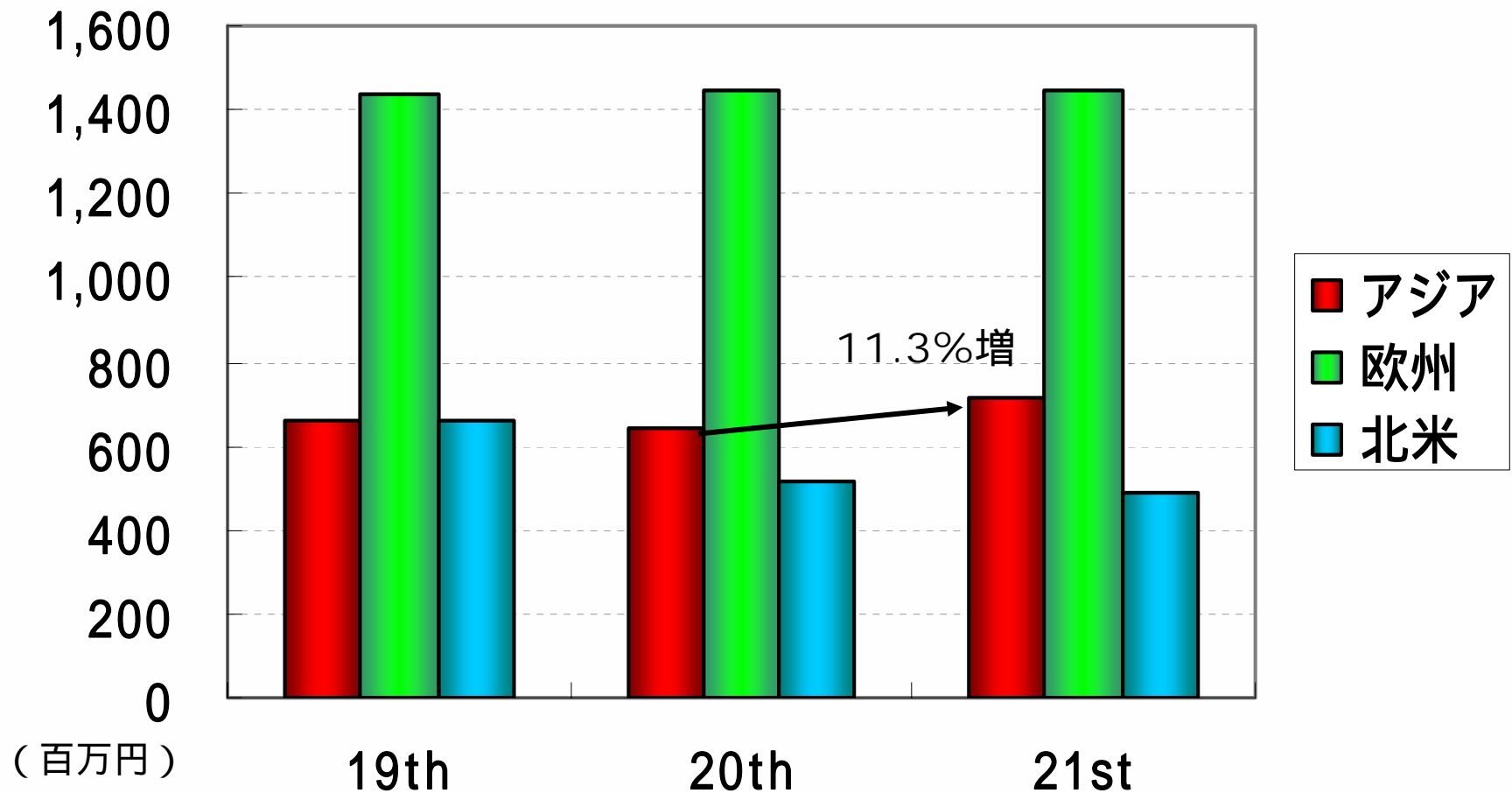
日本は引き続き堅調（トールゲート型ビジネス7.8%増）



台湾の売上を除いた日本地域の売上

# 21期のレビュー 地域別（日本以外）

アジアが上昇基調(11.3%増)、欧州、北米は横ばい



台湾の売上をアジア地域に計上したもの



# 21期のレビュー 収益面

北米の販売・運営体制の再構築により収益改善  
欧州は次期に向けて販売・運営体制を再構築

## 北米の販売・運営体制の見直し、再構築（収益効果 約2億円）

販売組織を中心に抜本的に見直し。シカゴ、アトランタの販売拠点は閉鎖。

## 欧州の販売体制の見直し、再構築（特損 約1億円）

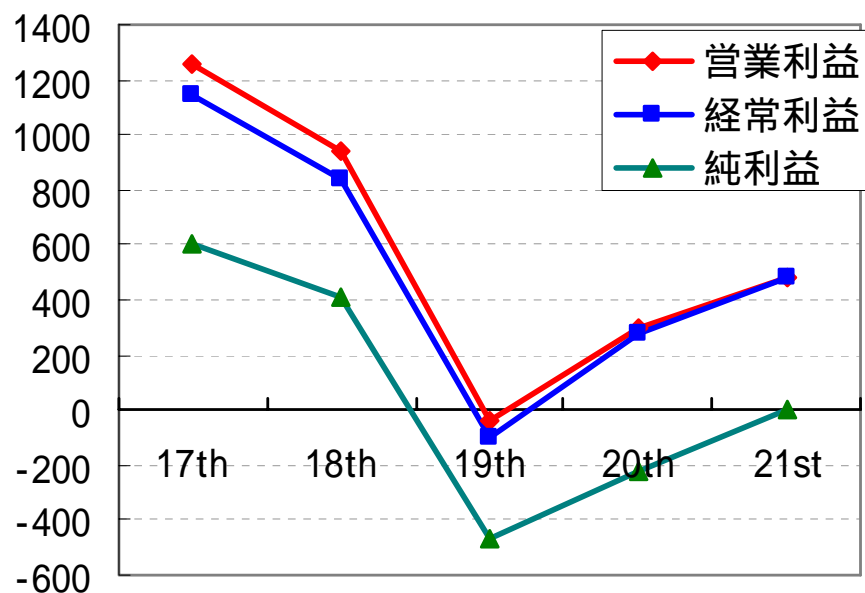
経営、販売の効率化を目的に、欧州の販売組織を当期に一気に見直し、再構築を決定

- ・ドイツ、デンマークの現地法人を清算し、支店・駐在事務所化を決定
- ・デュッセルドルフ、ローマの販売拠点を当期閉鎖

## 欧州の運営体制の見直し、再構築（特損 約1億円）

石油気象向けサービス運営拠点の英アバディーンをアムステルダムに統合し、欧州の運営を効率化。

# 第3成長期は「全員野球」でV字型回復へ



# ウェザーニューズの大ゴール

60SHOPで  
66億人のサポーターとともに  
Full Service Weather Company

2020年全世界の  
気象サービス民営化

2006/9  
創立20周年 / 第3成長期へ

2003/11 (18期)  
東証一部指定

1986/6  
会社創業

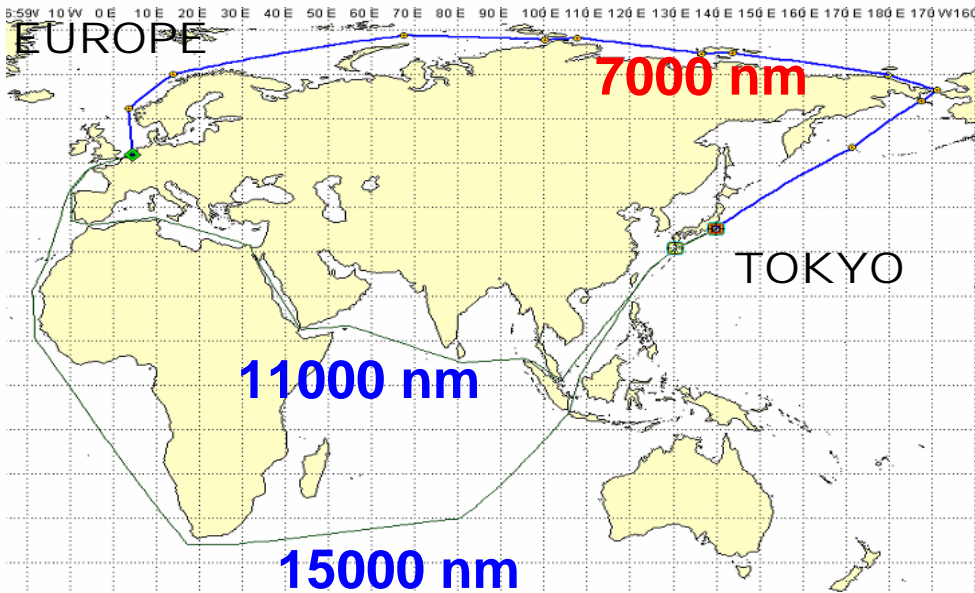
2000/12 (15期)  
ナスダックジャパン上場

2002/12 (17期)  
東証二部指定

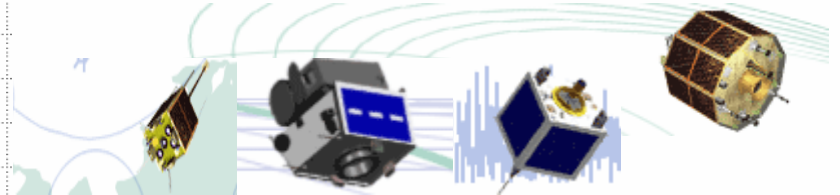
# 革新的なサービスへの挑戦

Polar Routeing / 独自気象衛星の打ち上げ

新たな航路  
北極海航路への挑戦



Ice Centerの立ち上げ  
超小型気象衛星の独自打ち上げ



# 民官連携型の気象サービス展開

民主体（サポーター主体）のサービス展開を計画

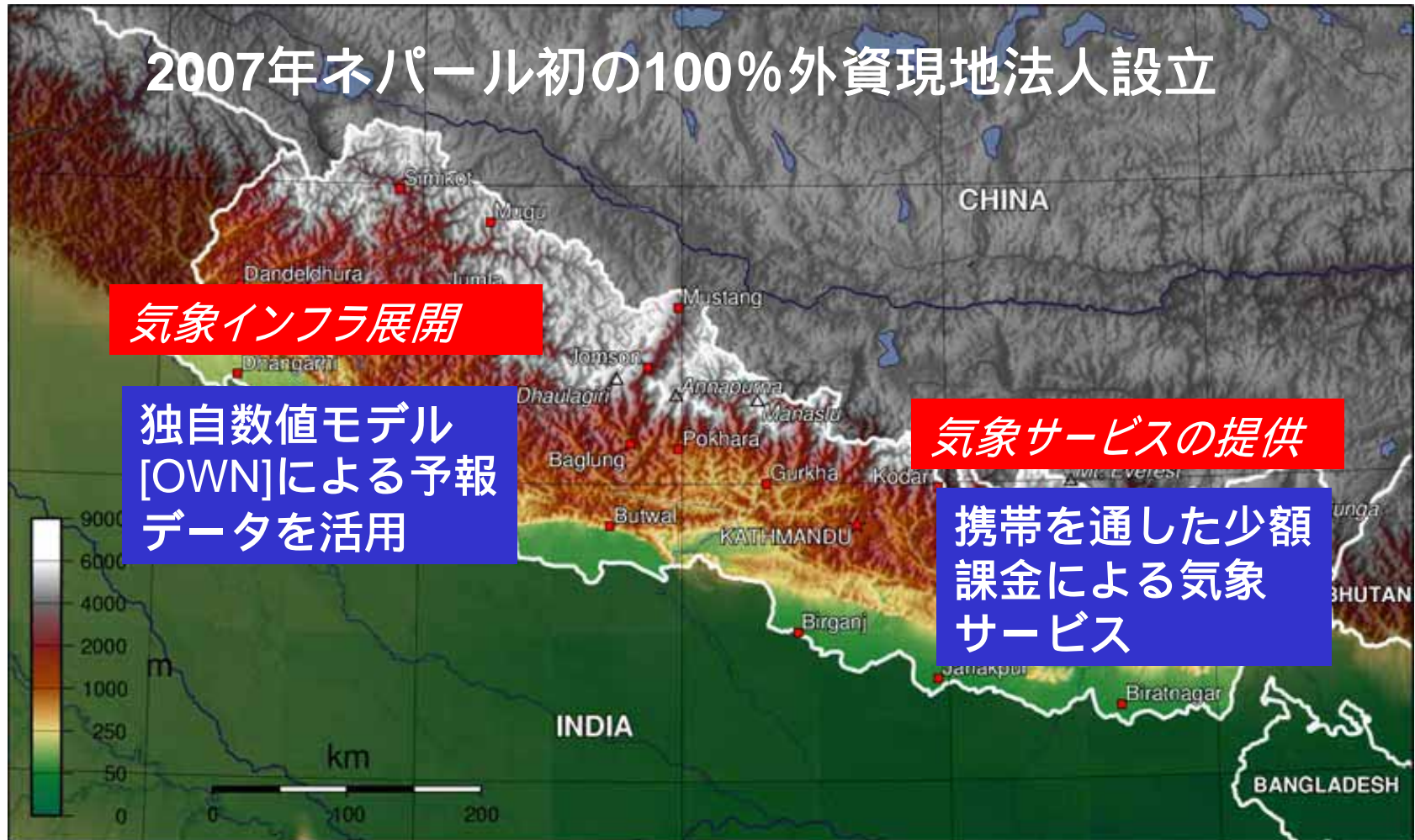
2007年ネパール初の100%外資現地法人設立

気象インフラ展開

独自数値モデル  
[OWN]による予報  
データを活用

気象サービスの提供

携帯を通じた少額  
課金による気象  
サービス



# 第3成長期の方針

成長性、健全性、**収益性**を備えた大堅企業へ

収益性の実現：利益は次なる投資（元氣）の源

成長性	BtoB(法人向け)は、重点事業で10%成長 BtoS(個人向け)は、20%成長 重点事業は海事気象(VP/P/M)と交通気象(RD/R/SKY)
健全性	・ゴールデン三角錐 < 営業(Glocaler)、マーケティング(SHOP)、運営・インフラ(GSI) > ・グローバルビジネスモデル(運営は日本<GC>に一元化、現地販売) ・トールゲート型/スター型ビジネスモデルに集中
収益性	「結果」こそ、最強の雄弁家 経常ベースで黒字・税引き後でも黒字

# 22期（2008年5月期）の見通し



# 22期の注力ポイント

## 強固なグローバル体制でV字回復へ

### 1. 重点市場

BtoB（法人向け）海事気象・交通気象の継続的なやりぬき

BtoS（個人向け）

モバイル、インターネットにCATV、BS放送を加えてさらに  
トランスメディア本格展開

### 2. 市場展開

売上70%以上の日本、販売体制の整ったアジアに継続的に注力  
欧州、北米は販売体制の強化

### 3. 運営・インフラ展開

市場展開を継続的に支える運営の強化

価値創造サービス、独自インフラ技術の強化・発展

## 22期（2008年5月期）の見通し 連結業績

	第21期 (06.06 ~ 07.05) (百万円)	第22期(予定) (07.06 ~ 08.05) (百万円)	増減 (百万円)
売上高	11,244	11,800	556 (5.0%)
営業利益又は営業損失( )	486	700	214
経常利益又は経常損失( )	486	700	214
純利益又純損失	3	200	197



***weathernews***

*Always **WITH** you!*